

新規事業採択時評価

【海岸事業】

(補助事業等)

◇ 豊橋海岸杉山地区(1工区)津波対策緊急事業	1
◇ 千里地区海岸海岸保全施設整備連携事業	3

事業名 (箇所名)	トヨハシ スギヤマ 豊橋海岸杉山地区(1工区) 津波対策緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 海岸室長 多田直人		事業 主体	愛知県			
実施箇所	トヨハシ 愛知県豊橋市					評価 年度	令和7年度			
主な事業 の諸元	海岸堤防(改良)L=980m									
事業期間	事業採択	令和8年度	完了	令和12年度						
総事業費 (億円)	34									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・豊橋海岸杉山地区の背後には、住宅地や緊急輸送道路となっている国道259号、愛知県道2号などが位置しており、計画規模の地震が発生した場合、津波による浸水により甚大な被害が発生する。</p> <p><達成すべき目標> ・豊橋海岸杉山地区において、想定される津波に対して侵入を防ぐため、海岸堤防の耐震化を計画的・集中的に実施し、切迫する津波の浸水被害を軽減し、避難時間を確保することにより、人命と財産を防護する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>									
便益の主な 根拠	浸水被害軽減戸数:382戸 浸水被害軽減面積:188ha									
事業全体の 投資効率性	基準年度		令和7年度							
	B:総便益 (億円)	129	C:総費用(億円)	86	B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)	1.5 (1.7) (1.9)	B-C	43	EIRR (%)	12
感度分析	残事業費 (+10% ~ -10%) B/C(1.4 ~ 1.6) 残工期 (+10% ~ -10%) B/C(1.5 ~ 1.5) 資産 (-10% ~ +10%) B/C(1.3 ~ 1.6)									
事業の 効果等	当該事業を実施することにより、南海トラフ沿いの地震により近い将来発生が想定される設計津波から、背後地の浸水を防ぎ、地域住民の生命・財産を守ることができる。また、緊急輸送道路となっている国道259号、愛知県道2号の浸水被害が防止されることにより、震災時の救助や救援等を早急に行うことが可能となる。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和7年12月に学識者として、名古屋大学大学院の水谷教授に事業内容・事業効果分析等を説明し、意見聴取した。 その結果、豊橋海岸(杉山地区)においてはゼロメートル地帯で津波来襲時には広範囲で浸水が予想されることや、豊橋市から田原市にかけて一連で防護を行う必要があるため、津波対策事業の必要性は高く、事業計画が妥当であることを確認した。									

■愛知県 田原海岸 位置図



事業名 (箇所名)	千里地区海岸 海岸保全施設整備連携事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局海岸室 室長 多田 直人		事業 主体	三重県				
実施箇所	三重県津市					評価 年度	令和7年度				
主な事業 の諸元	堤防の改築(堤防の高上げ)										
事業期間	事業採択	令和8年度	完了	令和14年度							
総事業費 (億円)	13										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 千里地区海岸は、背後地に津市の密集した住宅が広がり、近畿日本鉄道名古屋線や第一次緊急輸送道路である国道23号などが併走しているが、既設堤防高は計画規模の高潮・高波に必要な高さに対して不足している状況であり、既往最大クラスの偏差による高潮が発生した場合には、市内が浸水し、家屋が浸水するなど甚大な被害が想定される。</p> <p><達成すべき目標> 千里地区海岸において、近接する海岸や河川の整備と連携して計画的・集中的に堤防の高上げを行い、早期に背後地の浸水被害からの防護を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>										
便益の主な根拠	浸水被害軽減戸数:404戸 浸水被害軽減面積:18ha										
事業全体の投資効率性	基準年度		令和7年度								
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	13	全体B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)	1.2 (1.8) (2.3)	B-C	3	EIRR (%)	5	
感度分析	残事業費 (+10% ~ -10%) B/C(1.1~1.4) 残工期 (+10% ~ -10%) B/C(1.2~1.2) 資産 (-10% ~ +10%) B/C(1.1~1.3)										
事業の効果等	当該事業を実施することにより、海岸堤防背後の住宅密集地や事業所への高潮・高波による浸水被害を防ぐことができる。 さらに、高潮・高波により第一次緊急輸送道路である国道23号及び近畿日本鉄道名古屋線に浸水被害が生じ、避難・救援・復旧活動に影響を及ぼすが、事業を実施することにより、被害を防止できる。 なお、本事業とともに他地区海岸や河川の堤防等も一体的に整備を行う計画であり、津市北部地域の一連区間の海岸・河川の背後地において、高潮・高波による浸水被害からの防護が図られる。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和8年2月に学識経験者に意見聴取を行い、事業計画及び費用対効果分析結果(B/C)について、妥当性を確認した。										

所在地及び位置図	海岸名	地区海岸名	市町村	基幹事業名	要素事業名	都道府県名
	河芸海岸	千里地区海岸	津市	高潮対策	千里地区海岸 海岸保全施設整備連携事業	三重県

